

会 議 録

会議名 (審議会等名)		小金井市防災会議		
事務局 (担当課)		総務部地域安全課 防災消防係		
開催日時		令和2年1月31日(金) 午前10時00分～午前11時12分		
開催場所		小金井市役所本庁舎3階 第一会議室		
出席者	委員	会長：西岡 真一郎 委員：野田 健司・住野 英進・大熊 雅士・今枝 正一・木下 隆一・東谷 知幸・中村 裕・笹島 繁・近藤 康裕・山本 裕之・三島 協二・山岡 聡文・鈴木 陽子・川畑 美和子・立石 静子・田川 尚子・森田 純司・笠原 富美子・延 毅彦・土屋 義弘・中村 哲 代理出席：高山 (小金井警察署)		
	事務局	加藤 総務部長・大関 課長・原嶋 係長・湯浅 主事・福山 主事		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 小金井市地域防災計画の修正(差替え)について 2 その他 新庁舎における防災機能について		
会議結果		資料に基づき事務局が説明を行い、審議の結果、原案のとおり決定・承認された。		
提出資料		資料1 小金井市防災会議委員名簿 資料2 小金井市防災会議条例 資料3 小金井市地域防災計画の修正(差替え)について(案) 資料4-1 小金井市役所新庁舎の概要 資料4-2 小金井市役所新庁舎における防災機能について(案)		

1 開会

2 会長挨拶

3 資料説明

資料1～4の確認

4 議題及び審議結果

(1) 小金井市地域防災計画の修正（差替え）について

(会長)

事務局より説明をお願いします。

(事務局 原嶋)

「小金井市地域防災計画の修正（差替え）について（案）」資料3に基づき、説明した。

(会長)

ただいま、事務局より説明を行わせていただきました。

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら是非お願いいたします。

(小金井消防署 今枝委員)

今回、医療救護所が緊急医療救護所に名称が変わって、新たに指定をし直すと言う事で3病院指定されているのですが、この3病院でどの位の負傷者受け入れを想定されているのか教えていただけますか。

(事務局 原嶋)

事務局でございます。そちらについては手元に資料がございませんので、もしよろしければ三島先生からお願いいたします。

(小金井市医師会 三島委員)

3病院のうち、太陽病院は救急病院です。桜町病院は救急対応ではないです。小金井リハビリテーション病院と言うのは、ほとんどが安定期のリハビリの方ですから急性期の方を診ないところです。一番期待が持てるのは太陽病院ですね。ただそこでまだ問題が非常にありまして、スタッフがいない時間帯にどうやって集まるのかとか、電気が通っているか、水が使えるのかとか、その辺まで加味して考えてしまいますとかなり予想が立たないところです。出来ることをやると言うくらいしか回答できなくて、例えば5人ずつなら診られますよ、と言う回答が出来ればよいのですが、確実な回答は出来ないところです。電気がなければ何もできないので、自家発電を東京都のほうにお願いしており、令和元年の末には回答をいただけることになっているのですが、それがまだ来ていないので、まず危機管理などからスタートということになりますが、十分な設備が無いといくら良い医者やスタッフがいても、勤務が出来なかつたら、色々なものが揃わなかつたら駄目なので、実質何人と言うのは難しいと思います。それはおそらく同様に日赤病院だとか多摩総合医療センターとかにも言えることで、あのようなところは備蓄も多いし充電機能もしつ

かりしているのですが、基本的には同じ悩みを持っていると思います。普段の力を10としたら5か4くらいしか出ないのではないかと言う感じがしますので、ちょっと具体的な数字は分からないというところです。

(会長)

よろしいですか。

(小金井消防署 今枝委員)

あと、もう一点すみません。今、具体的な数字は無理だと言うことでしたが、医薬品関係の協定を市の方で今回結ばれていますよね。補給体制だと思うのですが。備蓄はどの程度されているのでしょうか。

(事務局 原嶋)

どの程度と言う数量的なものは、なかなか程度的には難しいところなのですが。

(小金井消防署 今枝委員)

例えば病院さんの方で市の方と打ち合わせをして、このくらいの量は確保しているよ、とかはあるのですか。

(事務局 原嶋)

基本的には医薬品の備蓄をしていただいております、市の方からお金を出して一定量を買って、あとはローリングストックと言う形でまた備蓄して行くという形です。

(会長)

薬剤師会の山岡会長にご出席いただいているので、補足説明がありましたらお願いいたします。

(小金井市薬剤師会 山岡委員)

薬剤師会の協定で72時間の部分の薬品に関しては揃っております。全部が揃っているわけではないのですが代用ができるものも含めて揃っております。救急の部分の注射とかは薬剤師会ではなくて病院の方で管理していますが、ただどうしても足りないものもあるので、それはこれからの調整次第になります。

(会長)

よろしいでしょうか。他にございますか。

(小金井市医師会 三島委員)

駅前の三浦屋さんの前にツインタワーが建っていて、そろそろ入居かと思います。どの位の数の入居者が入られるか分かりませんが、あの方たちがぼっと一気にいった場合、その方たちの防災と言うか、何かあった時の避難所とかトイレの問題とか、その辺の解決策と言うか、建てる段階から建築会社の方と話し合いながらやって来られたのかをお聞きしたかったのですが。

(事務局 原嶋)

全てを知っているものではないのですが、今建築中の建物は、建物の敷地内にマンホールトイレ

を備えておりまして、また防災用の備蓄倉庫も備えており、一部は市へもスペースを貸し出していただけるという形になっております。また地下の駐車場が広くございますので、そこは住民の方向けではないのですが、帰宅困難者のための避難所としても解放できるような形で現在調整を進めているところです。

(会長)

私の方から若干補足をいたします。武蔵小金井駅南口第二地区市街地再開発事業は5月竣工予定6月には街開きが行われる予定でございます。住居部分は716戸、4階までは店舗等となっております。716戸となっておりますが、今まだ順次販売中という状況で最終的な人数が確定しておりませんが、小金井市としましても様々な情報を事業者の方々からご提供いただきながら、例えば小学校、中学校も対応がございますし、また先生ご指摘のように防災対応というものがとても重要でございます。私も現地を何度か視察させていただきましたが、防災対策については、かなり様々な取り組みを取り入れていただいているようでございます。今日は資料などございませんが、医師会のほうには災害救急に関する先生方もいらっしゃいますので、担当職員から情報提供などさせていただけるよう調整させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(小金井市医師会 三島委員)

ありがとうございます。

(会長)

他にございますでしょうか。

(小金井市障害者地域自立生活支援センター 森田委員)

日頃から障害者福祉にご協力いただきありがとうございます。今回、地域防災計画の修正が軽微なものだということですので、これが適切なところか悩むところですが、一点お聞きしたいと思っております。一時滞在施設の指定が一つ増えているところなのですが、駅前の滞在施設としては交流センターがあるかと思えます。ここは駅に直結する位置にありますが、この滞在施設の利用の仕方のあるところでぜひ障害のある方の情報保障をご検討いただけたらと思っております。小金井の防災計画、平成27年に修正されたものの中には「情報保障」の一文が入っているかと思えますので是非その着目点を入れていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 原嶋)

情報保障は、情報提供のようなものでしょうか。

(小金井市障害者地域自立生活支援センター 森田委員)

駅前滞在施設、小金井市の方のみならず帰宅困難者の非常に重要な支援拠点になるかと思っております。また小金井は、東京都内でも真ん中に位置する市でありまして、その駅の目の前に一時滞在施設があるという立地の良さもありますので、そこに例えば聴覚障害のある方の手話通訳者の派遣の拠点のような機能を付けていただく着目点ですとか、その他視覚障害のある方への支援が届くような拠点にして行くような、そう言うような着目点をいただくと良いのかなと思っております。コミュニケーション支援者のような配置が出来るような計画になっていただけた

らと思っているところです。

(事務局 原嶋)

帰宅困難者になった障害者の方々に、今どう言う状況であるか、情報提供出来るように支援者を配置する等の仕組みかと捉えております。こちらにつきましては、やはり計画と言うよりマニュアルレベルのところで詰めて行かなければいけないのかなと考えるところでございますので、また今後そのようなところも一緒にご検討いただければと考えております。

(会長)

貴重なご意見をありがとうございました。ご意見ご要望として受け止めさせていただきまして検討させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。なお市民交流センターと言うのは、ご承知かと思いますが宮地楽器ホールのことでございます。ネーミングライツで宮地楽器ホールという名称になってございます。

他にございますでしょうか。それでは若干の修正等につきましては事務局にご一任いただきまして、小金井市地域防災計画の修正差し替え案につきましては原則本案を小金井市防災会議として確定いたしたいと思っておりますがご異議ございませんか。

～異議なし～

異議なしと認め原則本案を小金井市防災会議として確定いたします。よろしくお願いいたします。以上で議題1の「小金井市地域防災計画の修正（差替え）について」を終了します。次に議題2の「その他」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

(事務局 大関、原嶋)

資料4-1および資料4-2に基づき、説明した。

(会長)

ただ今事務局からの説明がありました。皆様方からご意見やご質問等がございましたらお願いいたします。

(公募 土屋委員)

多分検討部会で専門家も交えて十分検討されたし、今後もされていくのでしょうか、このような防災機能は、直下型の地震、震度6とか7とかを想定したような巨大な地震や今まで経験したことのない巨大な台風などを想定されたものになると思いますが、その中で今までも阪神淡路大震災から含めて大きな地震が各地で起きています。素案が出来たところで例えば小金井と似たような都市、あるかどうかわかりませんが、そういうところの現場がどのような考えを持って今後防災機能のある建物に変化させようとしているか、その辺をここだけで考えるのでは無しに、そのような現場へ若手の例えば30～40代の、今後小金井の防災を背負って行くような、そういう人達を派遣して議論をさせて、こういうものを作って行くとか、今後そのようなことも考えて行きたいとか、いやそのようなことは考えていない、専門家に入ってもらってこのようなしっかりしたものが出来て行くのだとか。私は現場に色々派遣して、そういう声もこの中に入れながらの検討が必要かなと思うのですが、その辺のご意見をいただければと。

(事務局 原嶋)

防災機能を整えるにあたって職員のレベルアップと言いますか、そういったところのご質問かと思えます。まず防災機能を整える環境ですね、他市の資料なども読み取りまして、例えば他市の防災機能の基本設計書を読み込むことや、あとは実際に建てたところの視察ですね、千葉県市原市と東京都渋谷区、こちらを見て来まして、実際にどのようなものが備えられているか、どのように活用して行くことを考えているか等、実際聞いてみたりしているところでございます。

(会長)

ご意見をいただきましてありがとうございます。現在、基本設計の受託者の方々に基本設計の作業を進めていただいております。併せて庁内に、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設の庁内検討委員会本部を作りまして、様々な部会を行い、防災につきましても地域安全課を中心に様々な検討を行わせていただいております。先ほど申し上げましたように、これから建設をいたします新庁舎・(仮称)新福祉会館、保健センター、この3つの大きな機能の複合施設が誕生いたしますが、防災拠点というものが非常に重要な柱となります。そのような関係もありまして庁舎につきましては免震構造を採用する方向で今調整を進めているところでございます。併せまして本日も説明させていただいたような様々な検討項目がございます。これまでに小金井市の庁舎に備わっていなかった機能を含めて、折角建設をする本当に大事な庁舎でございますので、今、公募委員の方からご指摘いただいたように、若手職員の方々を含めて視察に行ってもらっていましたし、また若手職員からの意見募集をしながらこの庁舎の建設を目指しています。地域安全課の職員の方々を中心に、鋭意、様々な他の自治体の取り組みなども研究をさせていただきながら、時には必要に応じて視察調査に行いながら、最良の防災拠点の構築に向けて一生懸命取り組みたいと思っております。よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。他にございますか。

(小金井市医師会 三島委員)

新庁舎の話がありまして伺いたいのですが、市内完結で出来れば行きたいと思うのですが、やはり日にちが経ちますとDMAT等をお願いするようになるのかなと思います。そう言う方々の受け入れの体制、場所的な問題と設備的な問題がありますので、DMATが動きやすい所とか、行きやすい所とか、設備が整っている所や電気が十分あるところ、そういったところも含めてDMATにとって使いやすい組織をご検討願えればと思います。

(事務局 原嶋)

DMAT、災害時の緊急医療救護チームですか、ちょっと日本語での正式名称を失念しましたが、普段は普通の医師として働きながら緊急時にはそういった所に出動する方々でございます。今の本庁舎では例えば控室とかもなかなか取れないと言うような状況ですけれども、新庁舎におきましては複数の会議室を転用したりすることを考えておりますし、また駐車場も十分な駐車スペースを確保できるように考えてございます。また詳細につきましてはなかなか分かっていないところもございますので、その辺のところは健康課と打ち合わせをしながら医師会さんからも情報提供をいただきながら、きちんと整えて行きたいと考えてございます。

(会長)

今般の庁舎建設は先ほども申し上げましたように、いわゆる庁舎機能だけではなく、福祉会館の中には様々な福祉関係団体、災害時のボランティアの関係では中心的役割を担っていただく社会福祉協議会、あるいは保健センターの機能も複数統合施設として建設いたしますので、庁舎と福

社会館との複合施設であることの利点と言うものも念頭に置きながら、DMA T派遣の際の受け入れ態勢の在り方なども引き続き検討させていただきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。他にございますでしょうか。

(小金井市薬剤師会 山岡委員)

市に対する平常時の電話の時に、午後6時を過ぎるとだいたい地域安全課だけが電気がついていて、地域安全課に電話をかけるとつながるんですね。夜中に何か問題が起きた時に、その場合も新庁舎の場合でも地域安全課だけは24時間体制でいるのか。もう一つは、最大の問題が起きるのは連絡網で、薬剤師会の場合はどうにもならないので全員にLINEで連絡するのが一番早い方法なのですが、無線がよく繋がらない。あれは少し改良したのでしょうか。

(事務局 原嶋)

24時間体制と言うことと、連絡手段、無線についてのご質問をいただきました。24時間体制かと言うと、地域安全課が24時間体制を取っているものでは現状もございませんで、施設管理室と言う所で、夜間の受付、電話受付等の業務を行っているものです。今後の新庁舎においても同様な体制になると言うようになるとは聞いてございます。もう一つ、連絡手段ですけれども、おそらくMCA無線のことだと思います。MCA無線につきましては、なかなか繋がりにくいであるとか、繋がらないとか言う声も聞こえてございまして、どの様な他の無線が適切なのか、災害時に強いとMCAは言われていますが、例えばほかの手段、IP無線であるとかそういったものは災害時にはどうなのであろうかとか、そのようなところも今後研究を進めていきたいと考えております。

(会長)

よろしいでしょうか。職員参集システムの在り方につきまして災害発生時の連絡体制は非常に重要だと思いますので、引き続き様々な情報伝達の手段のある中、小金井市としての適切なシステムの採用を引き続き検討してまいりたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。どうぞ。

(東京電力パワーグリッド 東谷委員)

今回の新庁舎、非常用発電設備と言う事で、72時間以上連続して稼働する設備を設けていただいていることありがとうございます。もう一つ、提案と言うかご検討いただければと思いますのが、太陽光発電だとか、充電する設備として電気自動車ですね、これも単純に移動手段ではなくて非常災害時のバッテリー機能も持つ非常に有効なものだと考えております。非常用発電設備もディーゼルで動く従来のものは、当然ながら燃料補給が必要になります。燃料補給できる事態であればそれに越したことはないのですが、道路の寸断など、燃料補給が難しい場合には太陽光プラス充電する電気自動車が有効です。普段は公用車としてご活用いただき、非常時には庁舎の電源確保、それから他の避難施設に向向して電気自動車で電気をまかなうと言う事もできるかなと考えます。予算の都合もあると思いますが、是非ご検討いただければと思います。

(事務局 原嶋)

事務局です。非常時の発電、電気の供給についてご意見をいただきました。太陽光発電なのですが防災機能検討部会の方では特段議題にはしていなかったのですが、庁舎の検討をしている本体の部隊の方で太陽光発電を付けようと言う事で、今現在そちらの方向で出来るかどうか、どう言

う供給をするかどうかの検討を進めているところと聞いてございます。
また、電気自動車については、現在一台を環境政策課の方で導入したところでございまして、今後導入を進めるかどうかにつきましてはなかなか担当ではお答えが難しいところでございます。

(会長)

この複合庁舎においてはパッシブ手法、省エネルギーを目指すということで、様々な環境に配慮した取り組みを、また技術を導入してゆくことが重要な検討課題でございます。その中で災害上のことも念頭に入れつつ、太陽光発電については維持設置させていただきたいと思いますが、その規模等につきましては更に詳細を調べて参りたいと思います。なお、電気自動車につきましては、今年度初めて庁用車で環境政策課が使用する自動車として購入いたしました。またこの本庁舎の北西部分に電源を充電するためのバッテリー電源充電器を設置いたしまして、庁内で充電が出来る体制も整ってございます。今後とも電気自動車の採用を増やしてまいりたいと思っております。例えば電気自動車の導入に際しては、東京都などの補助制度もかなり充実してございますので、補助制度を活用しながら災害時のことも念頭に入れつつ、電気自動車の庁用車の増設に向けて取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
他にございますでしょうか。

(公募 中村委員)

大きな災害で、皆さんがどこへ行くかと言いますと、避難所は行くのですが、皆さんが来られるのは市役所です。本当にたくさん集まって来ます。阪神淡路の時もそうでした。皆さん何で市役所に来るかと言うと、情報を求めて来ます。今回のこの新庁舎の防災機能という事で見ていると、じゃあ市民にどういう風に情報発信するのか、来た人にどういう風に情報を発信するのかと言う事が書かれてありませんので、出来たらそういった所を考慮して進めて欲しいと思います。

(事務局 原嶋)

市役所へ集まってきた人たちへの情報発信のご意見をいただきました。そのようなご意見も取り入れまして、今後また防災機能については充実させて行きたいと考えてございます。

(会長)

よろしいでしょうか。今後検討させていただきます。他にございますでしょうか。

(小金井消防署 今枝委員)

消防水利の件なのですが、すでに充足していると言う事で判断されているようなのですが、震災時と言う事で考えると40m³ではポンプ車一台当たり三口放水したとして30分持ちません。このことを考えると震災時の水利としては100t以上の水利で、尚且つ自動給水装置というのを是非要望しておきたいです。

(事務局 原嶋)

こちらにつきましては防災機能検討部会では当初100m³という形でまとめたのですが、費用面でどうか、というところを庁舎を検討する本体の部署からかなり話され、実際にメッシュとして充足しているかどうか、という所の判断から40m³としたところでございます。意見につきましては改めて、庁舎の検討をしている本体の方へ伝えたいと思います。

(会長)

消防署長からのご意見と言う事で、しっかり受け止めさせていただきたいと思います。この庁舎周辺の消防水利の充足状況も踏まえつつ、適切な対応が出来るように検討させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは議題2の「その他」庁舎につきましては、以上で終了させていただきます。

その他、当日の議題以外のことで何か委員の皆様からご発言ございましたら挙手をお願いいたします。

無いようでございます。それでは議題2「その他」を終了させていただきます。

以上を持ちまして令和元年度第2回小金井市防災会議を終了させていただきます。貴重なご意見等をいただきまして誠にありがとうございました。

今後とも防災会議委員の皆様方と勉強しつつ、小金井市の防災力の向上に一生懸命努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございました。

6 閉会